英語・ESAT-J YEAR 3 独自スピーキング練習ワーク 解答解説

発話例・日本語訳・採点観点｜一律の点数換算なし

対象教科	英語
対象単元	スピーキング・ESAT-J YEAR 3（音読・応答・やり取り・状況説明・意見）
問題構成	Part A 2問・Part B 5問・Part C 2問・Part D 3問
問題数	12問
目標時間	60分
難易度	基礎〜標準
公式確認日	2026-08-16

採点観点の使い方

令和8年度ESAT-J YEAR 3の公式採点基準を踏まえ、目的・場面・状況に応じた内容、語彙・文法・文構造、発音・強勢、話す速さ・間の取り方を練習用の観点として確認します。発話例は唯一の正解ではありません。音声を自動採点せず、ESAT-J GRADEや入試得点への換算、一律の部分点・減点数は設定しません。

問題 1

区分: 基礎｜Part A

次の独自英文を、意味のまとまりを意識して読み上げなさい。 Our reading club meets after school on Wednesday. We share a favorite book and listen to each person’s ideas.

正答: Our reading club meets after school on Wednesday. We share a favorite book and listen to each person’s ideas.

日本語訳

私たちの読書会は水曜日の放課後に開かれます。お気に入りの本を紹介し、一人一人の考えを聞きます。

条件確認

・2文を省略せず読んでいる。

・after schoolとon Wednesdayをまとまりで読んでいる。

・favorite bookやideasなど内容語を意識している。

組み立て方

・意味の区切りに斜線を入れる。

・内容語に印を付ける。

・一度ゆっくり読み、次に自然な速さで録音する。

都立入試ナビ

文法・語彙

meetsは主語Our reading clubに合う三人称単数形です。shareとlistenは主語Weに続く現在形です。

音声・伝え方

・Wednesdayの第一音節を意識する。

・favorite bookを途中で切りすぎない。

・文末で一度間を取る。

使える表現

・meet after school

・share a favorite book

・listen to ideas

詳しい解説

音読では一語ずつ同じ強さで読むのではなく、内容を表す語を中心にまとまりを作ると伝わりやすくなります。

間違いやすい点

person's所有格を落としたり、listenの後のtoを読まなかったりしないこと。

採点観点

発音と強勢、読む速さと間が、聞き手に2文の意味を伝えられる程度に適切かを確認します。

別の適切な発話例

Our reading club meets after school on Wednesday. We share a favorite book and listen to each person's ideas.

録音の見直し方法

録音を英文と照合し、読まなかった語、詰まった場所、強く読む語を一つずつ確認します。

問題 2

区分: 基礎 | Part A

次の独自英文を、聞き手に内容が伝わるように読み上げなさい。 Before leaving the classroom, we check the lights and the air conditioner. This small action saves energy every day.

正答: Before leaving the classroom, we check the lights and the air conditioner. This small action saves energy every day.

日本語訳

教室を出る前に、私たちは照明とエアコンを確認します。この小さな行動が毎日のエネルギーを節約します。

都立入試ナビ

条件確認

・2文を読んでいる。

・classroomの後で意味の区切りを作っている。

・small actionとsaves energyを明瞭に読んでいる。

組み立て方

・Beforeからclassroomまでを一まとまりにする。

・checkの目的語二つを続けて読む。

・2文目は結論として落ち着いて読む。

文法・語彙

Before leavingは『出る前に』を表します。This small actionは単数なのでsavesを使います。

音声・伝え方

・air conditionerを二語のまとまりで読む。

・savesの語尾を意識する。

・文末を不必要に上げない。

使える表現

・before leaving

・check the lights

・save energy

詳しい解説

前置きの節と主な内容の間に短い間を置くと、行動の順序が聞き手に伝わります。

間違いやすい点

Beforeの後で長く止まりすぎたり、conditionerを途中で切ったりしないこと。

採点観点

個々の語の発音、強勢、読む速さと間により、節電行動の意味が聞き手に伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

Before leaving the classroom, we check the lights and the air conditioner. This small action saves energy every day.

録音の見直し方法

一回目と二回目の録音を比べ、区切りと文末の読み方が自然になったか確認します。

都立入試ナビ

問題 3

区分: 基礎 | Part B

相手が What do you usually do after school? と尋ねました。自分の習慣を英語で答えなさい。

正答: I practice basketball with my friends after school.

日本語訳

私は放課後、友達とバスケットボールを練習します。

条件確認

・質問に対応する習慣を答えている。

・現在形の一文で話している。

組み立て方

・What do you doに対して行動を決める。

・Iの後に動詞practiceを置く。

・相手と時を後ろに加える。

文法・語彙

習慣なので現在形を使い、Iの後はpracticeの原形です。

音声・伝え方

・practiceとbasketballを明瞭に言う。

・一文を途中で長く止めない。

使える表現

・I practice ...

・with my friends

・after school

詳しい解説

質問の中心doに直接対応する行動を最初に答えると、短くても目的を達成できます。

間違いやすい点

I am practiceのようにbe動詞と一般動詞を重ねないこと。

採点観点

質問に対応した習慣が、理解可能な語彙・文法と音声で伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

I read books in the library after school.

都立入試ナビ

録音の見直し方法

録音を聞き、質問への答えが最初の一回で分かるか確認します。

問題 4

区分: 基礎｜Part B

相手に行事の開始時刻を尋ねる一文を英語で話しなさい。

正答: What time does the school concert start?

日本語訳

学校のコンサートは何時に始まりますか。

条件確認

・開始時刻を尋ねている。

・What timeで始まる疑問文である。

組み立て方

・知りたい情報をWhat timeにする。

・主語the school concertを決める。

・doesの後に動詞原形startを置く。

文法・語彙

主語が三人称単数でも、doesの後の動詞は原形startです。

音声・伝え方

・What timeを一まとまりで言う。

・質問として文末の調子を自然に保つ。

使える表現

・What time does ... start?

・the school concert

詳しい解説

情報を受け取るだけでなく、自分から必要なことを質問する練習です。

間違いやすい点

doesの後をstartsにしないこと。

採点観点

場面に必要な開始時刻を、適切な疑問文で相手に尋ねられているかを確認します。

都立入試ナビ

別の適切な発話例

When does the school concert begin?

録音の見直し方法

doesとstartの形、質問の目的が聞き手に一度で伝わるかを確認します。

問題 5

区分: 標準｜Part B

勧める場所と理由を英語で伝えなさい。

正答: Let's study at the library. It is quiet, so we can focus there.

日本語訳

図書館で勉強しましょう。静かなので、そこで集中できます。

条件確認

・図書館を提案している。

・静かさと集中を理由にしている。

・二文で話している。

組み立て方

・Let'sで提案する。

・Itで図書館を受ける。

・soで理由から結果をつなぐ。

文法・語彙

Let'sの後は動詞原形study、canの後は動詞原形focusです。

音声・伝え方

・Let's studyを続けて言う。

・soの前で短く区切る。

使える表現

・Let's study at ...

・It is quiet

・we can focus

詳しい解説

提案だけで終わらず、理由と利点を加えることで相手の行動を促す発話になります。

都立入試ナビ

間違いやすい点

Let's to studyやcan focusingにしないこと。

採点観点

指定された場所と理由を含み、提案として相手に適切に伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

I think the library is better. We can study quietly there.

録音の見直し方法

提案と理由の両方が録音にあり、thereの指す場所が明確か確認します。

問題 6

区分: 標準 | Part B

相手を安心させ、案内を申し出る二文を英語で話しなさい。

正答: Don't worry. I can show you the way to the science room.

日本語訳

心配しないでください。私が理科室まで案内できます。

条件確認

・相手を安心させている。

・案内できると申し出ている。

・二文である。

組み立て方

・最初に短く安心させる。

・I canで自分にできることを言う。

・目的地を最後に加える。

文法・語彙

canの後は動詞原形showを使い、show you the wayの語順にします。

音声・伝え方

・Don't worryをやわらかく言う。

・science roomを二語のまとまりで言う。

使える表現

・Don't worry.

・show you the way

都立入試ナビ

・to the science room

詳しい解説

困り事への応答、安心、具体的な助けが順に伝わる発話です。

間違いやすい点

show the way youの語順にしないこと。

採点観点

相手の困り事に対応し、安心と案内の申し出が理解可能な英語で伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

It's OK. I will take you to the science room.

録音の見直し方法

録音を聞き、親切な調子とshow you the wayの語順を確認します。

問題 7

区分: 標準 | Part B

体育館と中庭のどちらを使いたいか、理由も含めて相手に尋ねなさい。

正答: Do you want to use the gym or the school yard? Why do you choose that place?

日本語訳

体育館と校庭のどちらを使いたいですか。なぜその場所を選ぶのですか。

条件確認

・gymとschool yardを示している。

・希望と理由を質問している。

・二文である。

組み立て方

・Do you want toで希望を聞く。

・orで二つの場所を結ぶ。

・Whyで理由を続けて尋ねる。

文法・語彙

want toの後とdoの後は動詞原形use、chooseです。

音声・伝え方

・gym or the school yardを一続きで言う。

・二つの質問の間に短い間を置く。

都立入試ナビ

使える表現

・Do you want to ...?

・A or B

・Why do you choose ...?

詳しい解説

相手の希望を確認し、その理由まで聞くことでやり取りを広げます。

間違いやすい点

Why you chooseとdoを落とさないこと。

採点観点

二つの選択肢と理由を、目的に合う質問として相手に伝えられているかを確認します。

別の適切な発話例

Which place do you prefer, the gym or the school yard? Please tell me why.

録音の見直し方法

二つの場所とWhyの質問が明瞭に聞こえるか確認します。

問題 8

区分: 標準｜Part C

四つの出来事を、時間の順序が分かる英語で説明しなさい。

正答: First, it started to rain after school. Ken noticed that he did not have an umbrella. Then Aya shared her umbrella with him. Finally, they arrived at the station together.

日本語訳

まず、放課後に雨が降り始めました。Kenは傘を持っていないことに気付きました。次にAyaは彼と傘を共有しました。最後に二人は一緒に駅へ着きました。

条件確認

・雨、忘れ物、傘の共有、駅への到着を説明している。

・First、Then、Finallyを使っている。

・四文である。

組み立て方

・各場面の主語と動詞を決める。

・First、Then、Finallyを配置する。

・Kenをhe、Ken and Ayaをtheyで受ける。

都立入試ナビ

文法・語彙

過去の出来事なのでstarted、noticed、shared、arrivedを使います。himはKenを指します。

音声・伝え方

・順序語の後で短く間を取る。

・主語が変わる場所を明瞭にする。

・一定の速さで四文をつなぐ。

使える表現

・First, ...

・Then ...

・Finally, ...

・share an umbrella

詳しい解説

出来事を列挙するだけでなく、順序語と代名詞で一つの流れとして伝えます。

間違いやすい点

現在形と過去形を混ぜたり、himが誰か分からなくなったりしないこと。

採点観点

重要な出来事を順序立て、語彙・文法と音声により聞き手が流れを理解できるかを確認します。

別の適切な発話例

It began to rain after school. Ken had no umbrella. Aya let him use hers. In the end, they reached the station together.

録音の見直し方法

録音を聞き、四場面が順番どおりで、代名詞の相手が分かるか確認します。

問題 9

区分: 本番形式 | Part C

出来事のつながりが聞き手に伝わるように、四文で説明しなさい。

正答: Mika planted a small flower near her classroom. She watered it every morning. One windy day, the pot fell over, so she asked her friend for help. They planted the flower again together.

日本語訳

Mikaは教室の近くに小さな花を植えました。毎朝それに水をやりました。ある風の強い日に鉢が倒れたので、友達に助けを求めました。二人は一緒にその花を植え直しました。

都立入試ナビ

条件確認

・植える、水やり、鉢が倒れる、植え直すを説明している。

・soで原因と行動をつないでいる。

・四文で話している。

組み立て方

・Mikaを最初に示す。

・Sheとitで人物と花を受ける。

・soで事故と助けを求める行動をつなぐ。

・最後はTheyで共同作業をまとめる。

文法・語彙

過去形planted、watered、fell、askedを使います。fellはfallの過去形です。

音声・伝え方

・One windy dayを場面転換として区切る。

・fell overとasked for helpを明瞭にする。

・最後のtogetherを落ち着いて言う。

使える表現

・water a flower

・fall over

・ask for help

・plant again

詳しい解説

時系列に加えてsoで原因と結果を示すと、出来事のつながりが明確になります。

間違いやすい点

fallの過去形をfalledにしたり、ask helpとforを落としたりしないこと。

採点観点

四場面を一連の出来事として順序立て、因果関係と人物関係が聞き手に伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

Mika put a flower by her classroom. She gave it water each morning. Strong wind knocked the pot down, and she called a friend. Together, they put the flower back in the pot.

録音の見直し方法

四場面とsoの因果関係、過去形、発話全体の速さを録音で確認します。

都立入試ナビ

問題 10

区分: 本番形式 | Part D

Do you think schools should play music during lunch? 意見、理由、具体例を英語で話しなさい。

正答: I think schools should play music during lunch. Music can help students relax after their morning classes. For example, quiet songs can make the lunchroom feel friendly.

日本語訳

学校は昼食中に音楽を流すべきだと思います。音楽は午前の授業後に生徒がくつろぐ助けになります。例えば、静かな歌は食堂を親しみやすく感じさせます。

条件確認

・賛成意見がある。

・くつろげることを理由にしている。

・静かな歌の例を加えている。

・三文である。

組み立て方

・I thinkで意見を言う。

・Music canで理由を示す。

・For exampleで具体例を加える。

文法・語彙

shouldとcanの後は動詞原形play、help、makeです。songsは複数なのでcanに形の変化はありません。

音声・伝え方

・意見を最初にはっきり言う。

・For exampleの後で短く間を取る。

・三文を同じ話題としてつなぐ。

使える表現

・I think ... should ...

・help students relax

・For example, ...

詳しい解説

意見、理由、例の順にすると、短い発話でも根拠のある説明になります。

間違いやすい点

should playsやcan helpsにしないこと。

都立入試ナビ

採点観点

目的と場面に合う明確な意見、理由、例が、適切な語彙・文法と理解可能な音声で伝わるかを確認します。

別の適切な発話例

I do not think schools should play music during lunch. Some students want a quiet break. A calm room helps them prepare for afternoon classes.

録音の見直し方法

録音を聞き、最初の文だけで立場が分かり、後の二文が理由を支えているか確認します。

問題 11

区分: 本番形式 | Part D

Which activity is better for junior high school students, cleaning a park or reading to children? 意見と理由を英語で話しなさい。

正答: I think reading to children is better. Students can share interesting stories with younger children. They also learn how to speak clearly for a listener. This activity can connect people in the community.

日本語訳

子供への読み聞かせの方がよいと思います。生徒は年下の子供たちと面白い物語を共有できます。また、聞き手のためにはっきり話す方法を学びます。この活動は地域の人々をつなげます。

条件確認

・読み聞かせを選んでいる。

・物語の共有と話し方の学びを理由にしている。

・地域をつなぐ効果がある。

・四文である。

組み立て方

・一文目で選択を示す。

・二、三文目で具体的なよさを述べる。

・四文目で地域への効果をまとめる。

文法・語彙

reading to childrenは一つの活動として単数扱いなのでisを使います。TheyはStudentsを指します。

音声・伝え方

・二つの活動名のうち選んだ方を強調する。

・alsoで追加理由を示す。

・最後の文を結論として落ち着いて話す。

都立入試ナビ

使える表現

・I think ... is better.

・share stories

・learn how to ...

・connect people

詳しい解説

選択の理由を二つ示し、最後に広い効果を加えることで意見を詳しく説明します。

間違いやすい点

Reading areやStudents can sharesにしないこと。

採点観点

選択、理由、具体的なよさが関連し、聞き手に伝わる語彙・文法・音声で意見を述べているかを確認します。

別の適切な発話例

I think cleaning a park is better. Students can work together outside. A clean park is safer for small children. The activity also teaches responsibility.

録音の見直し方法

選択と各理由が一つの話題につながり、代名詞の指す内容が明確か確認します。

問題 12

区分: 本番形式 | Part D

What can your school do to help new students? 提案、理由、具体的な方法を英語で話しなさい。

正答: Our school can start a welcome partner program. Each new student can meet an older student on the first day. The older student can answer questions and show important places. This program will help new students feel safe.

日本語訳

学校は歓迎パートナープログラムを始められます。新入生は初日に上級生と会えます。上級生は質問に答え、大切な場所を案内できます。このプログラムは新入生が安心する助けになります。

条件確認

・歓迎パートナープログラムを提案している。

・上級生と会う具体的方法がある。

・質問と校内案内の支援がある。

・安心できる効果がある。

・四文である。

都立入試ナビ

組み立て方

・一文目で提案名を示す。

・二、三文目で実施方法を説明する。

・四文目で新入生への効果をまとめる。

文法・語彙

canとwillの後は動詞原形start、meet、answer、show、helpです。Each new studentは単数ですがcanの後のmeetは原形です。

音声・伝え方

・welcome partner programを一まとまりで言う。

・answer questionsとshow important placesを並列で話す。

・最後のfeel safeを明瞭にする。

使える表現

・start a program

・on the first day

・answer questions

・show important places

・feel safe

詳しい解説

提案、実施方法、具体的な支援、効果の順で、聞き手が実行のイメージを持てるようにします。

間違いやすい点

can meetsやwill helpsのように助動詞の後へsを付けないこと。

採点観点

提案と具体的方法、効果が関連し、目的に合う内容を適切な語彙・文法・音声で詳しく伝えているかを確認します。

別の適切な発話例

Our school can give new students a short school tour. Student guides can explain the library, gym, and lunchroom. New students can ask questions during the tour. This will make their first week easier.

録音の見直し方法

四文の役割を提案・方法・支援・効果に分け、録音で内容と間の取り方を確認します。

都立入試ナビ

評価について

本教材の発話例は唯一の正解ではありません。公式の観点を練習用に一般化しており、ESAT-J GRADEや入試得点への換算、一律の部分点や減点数は設定しません。

総合見直し

・求められた内容に直接答えている。

・目的・相手・場面に合う表現を使っている。

・必要な理由、例、質問、提案を含めている。

・主語と動詞のある文で話している。

・時制と語順が伝える内容に合っている。

・聞き手が理解できる発音と音量で話している。

・大切な語を意識して強く読み、不自然に語を切っていない。

・急ぎすぎず、長く止まりすぎない。

・録音を聞き、一つ改善して再録音した。

公式情報確認日：2026-08-16

都立入試ナビ
都立入試ナビ
都立入試ナビ